

蚕影山附近の植物と呼び名、補遺

柳 沢 新 一

本誌第8号：113頁に追加を必要とするものは、下記の通りである。

1) 蚕影山附近の植物

蚕影山に登る途中に、オオバギボウシ・ズミ、セイグチ附近の斜面に、ウシコロシ・ナンテンハギ・キハダ・ニシキウツギ・ニガキ・シモツケ、神川に沿ったイチメン岩附近に、ナデシコ、神川の分流水田辺に、ウツボグサ、長生橋を渡った水田地帯ムカイに、ノブドウ・カラマツソウ・コマツナギ・クサフジがあり戸沢部落にはいった住宅附近に、シナノカキ・ハタンキョウ カヤ・グミ・アズ・カシグルミ・スモモが栽植され、オグルマ・クサノオウ・ミチヤナギ・ムラサキケマン・オドリコソウ・ヤブマメが見られる。

2) 戸沢附近での植物の呼名と和名(括弧内)に、

ヨツズミ(ガマズミ)※単にズミと呼ばれることもある。オニツツジ(レンゲツツジ)、タツボグ
リ(カラスウリ)、ウズラマメ(ウズラウメ)、ホウキノキ(ホウキギ)、コガキ(シナノカキ)、
ササギ(インゲンマメ)、ギンナン(イチヨウの実)、テンナン(テンナンショウ)、トガ(ツガ)、
コナシ(ズミ)、シャクナギ(シャクナゲ)、ハサミグサ(ヤハズソウ)、イロボノキ(シラキ)、
ゴハ(ヤグルマソウ)を加える。尚、トロロイモ(ナガイモ)、ヤマウド(ミヤマウド)、フキ(ノ
ブキ)、トウブキ(作りブキ)、ウメモドキ(ツルウメモドキ)、グミ(ナツグミ)、スグリ(アカ
スグリ)、レンコン(ハス)、クルミ(カシグルミ)、コネリ(カキの品種)、コリンゴ(ハナリン
ゴ、ヤマナシ(ナシの品種)を種類として加える。

〔新刊紹介〕 沼田真編「帰化植物」 環境科学ライブラリー 13 大日本図書 1975, 10

初版 四六判 タテ組 160頁 800

本文執筆者 1. 帰化植物の生態学的特性 沼田 真, 2. 帰化率 飯泉 茂,
3. 帰化植物の種子の発芽 林 一六, 4. 帰化植物の種類調べ 長田武正

編者の序文に「本書では、環境科学ライブラリーの一冊であるという性格から、一方で帰化植物についての平易な解説を試るとともに、主として生態学的観点からその特性を洗い出し、身近の帰化植物を見る上での新しい見方をのべることにした」とあるが、装丁文調ともに親しみ易く、長からず短かからず、読んで面白く疲れることがない。にも拘らず帰化植物の本質問題に突き入っていて読みがいを感ずる。

植物界で帰化植物がどんな位置にあってどんな性格のものであるか、特に人との関わり合いはどうか等、正しい認識を誰もが必要としている現在、それを満たしてくれる大変手ごろな本である。単なる知識としてではなく、研究方法が説かれている点が出色である。主要な帰化植物の正確な図も気持ちよい。多くの人におすすめしたい本である。

(浅川富雄)